

全国ボッチャ選抜甲子園 Q&A

① 監督は、招集場所から競技コートのごまで、引率（選手と一緒に行動）することができますか。誘導が必要な選手がいる場合、どうすればよいですか。

A. 監督は招集場所、競技コートのご位置まで一緒に行くことができます。規則でスポーツアシスタントの使用が認められている選手（ランプを使用する選手）も、コートまで一緒に行くことができます。また、審判も入場の際にはお手伝いすることができます。

② キャプテンの腕章は、大会側で用意いただけますか。

A. 大会側で準備しております。

③ 競技コートや投球ボックスに、水筒やタオルを持ち込むことは可能ですか。

A. 持ち込むことは可能です。熱中症も心配な時期ですので、適宜水分補給を行ってくださるようご配慮ください。試合中も水分補給は可能ですが、規則の範囲内（アシスタントから選手への声かけはNG、自分の時間の範囲内やエンドとエンドの間で行うなど）となることはご了承ください。

④ 音が苦手な選手がいます。競技コートや投球ボックスに、イヤーマフ（ヘッドホンのようなもの）をつけていることは可能ですか。

A. 問題ありません（選手同士でやりとりがむずかしくならないものかと心配しますが）。着脱については、基本的には選手自身が行うか、スポーツアシスタントがいればその方がチームの持ち時間かエンドとエンドの間で行ってください。

⑤ 競技コートや投球ボックスに、作戦盤やメモを持ち込むことは可能ですか。

A. コーチがエンドとエンドの間に持ち込んで説明をするために用いることは問題ありません。しかし、それを投球ボックスに残しておいて、試合の時にスポーツアシスタントが選手とコミュニケーションを取るために使用することはできません。

⑥ ジャックボールは、誰が投げててもよいのですか。

A. 規則集の通りです（第6条競技手順(6)参照）。主将が投球します。

全国ボッチャ選抜甲子園 Q&A

⑦ どのボールがジャックボールに近いか、その時点でどちらのチームが何点かを審判に尋ねることは可能ですか。

A. 「今何点ですか?」という質問は、自分のチームが投球する場面では質問できます。ただし「どちらが近いですか」「どれが近いですか」という質問には答えられません。より正確に知りたいときには「計測してほしい」と依頼する必要があります。その場合は自分のチームの持ち時間が計測中にどんどん減ってしまうので注意が必要です。時間内に、自分たち自身で確認に行くことはできます。

⑧ 残り時間を聞くことはできますか。

A. 自分のチームの持ち時間の中で、残り時間の問い合わせがあったときに審判は答えることができます。

⑨ ペナルティースローは、誰が、どこから投げるのですか。

A. ペナルティースローは、チームの中で相談して誰が投げるのか決めてください（控え選手以外）。投げる選手が決まったら、その選手は、自分のいるボックスから投球します。

⑩ タイブ레이크は、誰が、どこから投げるのですか。

A. 規則の通りです（第6条競技手順(15)参照）。主将が、自分のボックスから投球します。

⑪ 2.5m×1mのスローイングボックスの後方から投球をしたい場合、隣にいる相手チームの選手をボックス外に移動してもらうことは可能ですか。

A. ボックス内で下がることについては、相手に「お願いすること」はできます。ただしボックスの外まで下がってもらうことはお願いできません（スポーツマンシップによりお互いの投球の邪魔をしないという申し合わせをコールルームでお願いするとよいでしょう）。

⑫ 自分の攻撃の時間に、ボールの位置を確認しに行きたいときは、勝手に見に行っても構いませんか。

A. 自分の持ち時間の中であれば、自由にコート内にボール配置を確認しに行くことは構いません。